

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2001258801 A**

(43) Date of publication of application: **25.09.01**

(51) Int. Cl

**A47K 17/02**

(21) Application number: **2000080895**

(71) Applicant: **MAC SANKO CO LTD**

(22) Date of filing: **22.03.00**

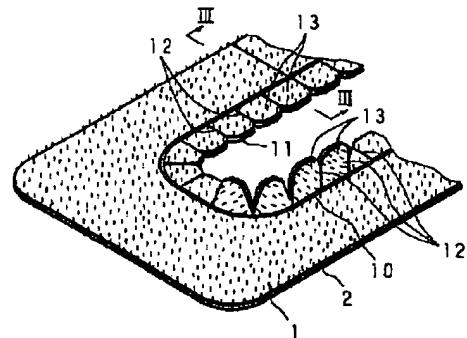
(72) Inventor: **SUMIYA KATSUYOSHI**

**(54) TOILET MAT**

**(57) Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To satisfactorily absorb and catch the urine falling along the outer circumferential surface of a stool to prevent the contamination of a floor surface with the urine.

**SOLUTION:** This toilet mat has water retaining property and comprises a recessed part 11 to be laid along the outer circumferential surface of a Western-style stool on a part of the periphery, a plurality of slits 12 on the edge of the recessed part 11, an adhesive lining layer 2 provided on the reverse side thereof, and lapels 13 raise between the respective slits 12. The raised lapels 13 are adhered to the outer circumferential surface of the stool by the adhesion of the lining layer 2.



COPYRIGHT: (C)2001,JPO

# ABSTRACT ATTACHED

(19) 日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-258801

(P2001-258801A)

(43) 公開日 平成13年9月25日 (2001.9.25)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

A 47 K 17/02

識別記号

F I

A 47 K 17/02

テマコード(参考)

Z 2D037

審査請求・未請求 請求項の数 6 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2000-80895 (P2000-80895)

(22) 出願日 平成12年3月22日 (2000.3.22)

(71) 出願人 000103116

エムエイシイサンコ一株式会社  
和歌山県海南市大野中715

(72) 発明者 角谷 勝義

和歌山県海南市阪井1634

(74) 代理人 100078868

弁理士 河野 登夫

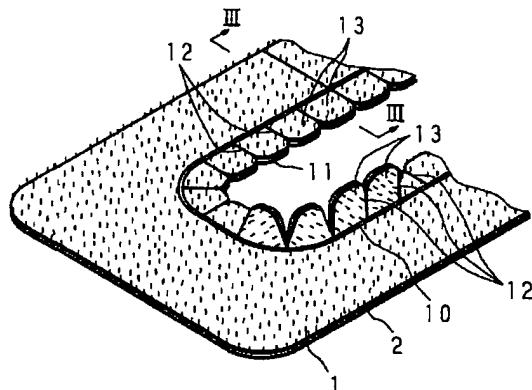
Fターム(参考) 2D037 EB01

(54) 【発明の名称】 便所用マット

(57) 【要約】

【課題】 便器の外側周面を伝って流れ落ちる小水を良好に吸水補足し、小水による床面の汚損を良好に防止することができるようとする。

【解決手段】 保水性を有しており、その周縁の一部に洋式便器の外側周面に沿わせるべき凹部11を設け、該凹部11の縁に複数のスリット12…を設け、その裏面に接着性を有する裏打層2を設けて、夫々のスリット12…の間の舌辺13…を立ち上がらせ、これら立上り舌片13…を前記裏打層2の接着性によって便器の外側周面に接着するようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 床面に敷く便所用マットにおいて、保水性を有しており、その周縁の一部に洋式便器の外側周面に沿わせるべき凹部を設けてあり、該凹部の縁に複数のスリットを設けてあり、その裏面に接着性を有する裏打層を設けてあることを特徴とする便所用マット。

【請求項2】 前記裏打層は保形性を有する合成樹脂材料で形成してある請求項1記載の便所用マット。

【請求項3】 洋式便器に対し前側位置と後側位置とに敷く一对を備えている請求項1又は請求項2記載の便所用マット。

【請求項4】 床面に敷く便所用マットにおいて、保水性を有しており、その周縁の一部に洋式便器の外側周面に沿わせるべき凹部を設けてあり、該凹部の縁に複数の切込案内線が描いてあり、その裏面に接着性を有する裏打層を設けてあることを特徴とする便所用マット。

【請求項5】 床面に敷く便所用マットにおいて、保水性を有しており、その周縁の一部側に略U字形の切取案内線及び該切取案内線の複数の位置で分枝する切込案内線が描いてあり、その裏面に接着性を有する裏打層を設けてあることを特徴とする便所用マット。

【請求項6】 前記裏打層は保形性を有する合成樹脂材料で形成してある請求項4又は請求項5記載の便所用マット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、便所の床面に敷く便所用マットに関する。

【0002】

【従来の技術】 洋式便器が設置された便所にあっては、便器に対して前側位置の床面にマットが敷かれる。

【0003】 また、洋式便器は床面に固定される下端部から上端部の開口を縁取る上縁にかけてその内部空間が広くなるように形成された磁器製の便器と、該便器にその後部を枢支され、前部の上げ下げ操作により開閉される環状の便座とを備えて構成されている。

【0004】 このように構成された洋式便器において、男性の小用は、前記便座を上げて便器の上縁に対面する立ち姿勢にてなされるが、このとき、小水の一部が露出した状態にある便器の上縁に飛び散ったり、便器の後部上縁を飛び越えたりすることがあり、便器の上縁に飛び散った小水の一部は便器の外側周面を伝って床面へ流れ落ち、床面を汚すことになり、また、便器の後部上縁を飛び越えた小水は床面へ落ちるとともに、その小水の一部は便器の外側周面を伝って床面へ流れ落ち、床面を汚すことになる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、マットは上述したところのように洋式便器に対して前側位置に敷かれているだけであるため、上述したところのように便器

の外側周面を伝って落ちる小水は床面へ流れて該床面を汚すことになる。また、小水で汚れた床面は雑巾等で拭いたり、床面に水を流して洗ったりすることにより清掃するが、小水が床面を汚すほど床面を掃除することは困難を伴うため、掃除の回数を減らすことが要望されていた。

【0006】 本発明は斯かる事情に鑑みてなされたものであり、便器の外側周面に沿わせるべき凹部の縁に複数のスリットを設けるとともにその裏面に接着性を有する裏打層を設けることにより、夫々のスリットの間の舌片を立ち上がらせて便器の外側周面に接着することができ、便器の外側周面を伝って流れ落ちる小水を舌片で保水し、小水による床面の汚損を良好に防止することができる便所用マットを提供することを目的とする。

【0007】 また、裏打層が保形性を有する合成樹脂材料である構成とすることにより、洗濯による皺を良好に防ぐことができる便所用マットを提供することを目的とする。また、洋式便器に対し前側位置と後側位置とに敷く一对を備える構成とすることにより、小水の一部が便器の後部上縁を飛び越えた場合においても小水を良好に保水することができる便所用マットを提供することを目的とする。

【0008】 また、便器の外側周面に沿わせるべき凹部の縁に複数の切込案内線を描くことにより、マットを購入した使用者が夫々の切込案内線に沿って切込むことにより複数の舌片を形成することができる便所用マットを提供することを目的とする。

【0009】 また、略U字形の切取案内線及び該切取案内線の複数の位置で分枝する切込案内線を描くことにより、マットを購入した使用者が切取案内線に沿ってマットの一部を切取ることにより便器の外側周面に沿わせるべき凹部を形成でき、さらに夫々の切込案内線に沿って切込むことにより複数の舌片を形成することができる便所用マットを提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】 第1発明に係る便所用マットは、床面に敷く便所用マットにおいて、保水性を有しており、その周縁の一部に洋式便器の外側周面に沿わせるべき凹部を設けてあり、該凹部の縁に複数のスリットを設けてあり、その裏面に接着性を有する裏打層を設けてあることを特徴とする。

【0011】 第1発明にあっては、マットを購入した使用者が夫々のスリットの間の舌片を立ち上がらせた状態で洋式便器に対し前側位置に置き、このマットを便器に向けて移動させることにより夫々の立ち上がり舌片を便器の外側周面に接触させることができ、さらにこれら舌片を押し付けることにより、裏打層の接着性によって夫々の舌片を便器の外側周面に接着することができ、舌片の便器との接触状態を良好に保つことができる。従つて、便器の外側周面を伝って流れ落ちる小水を舌片で保

水し、小水による床面の汚損を良好に防止することができる。

【0012】第2発明及び第6発明に係る便所用マットは、前記裏打層は保形性を有する合成樹脂材料で形成してあることを特徴とする。

【0013】第2発明及び第6発明にあっては、汚損した便所用マットを洗濯した場合、裏打層によって洗濯皺を生じさせることなく平坦な形状を保つことができ、洗濯した便所用マットを床面に良好に敷くことができる。

【0014】第3発明に係る便所用マットは、洋式便器に対し前側位置と後側位置とに敷く一对を備えていることを特徴とする。

【0015】第3発明にあっては、洋式便器に対し前側位置と後側位置とにマットを敷くことができるため、小水の一部が便器の上縁に飛び散ったり、便器の後部上縁を飛び越えたりする場合においても前記立ち上がり舌片によって小水を良好に保水することができる。

【0016】第4発明に係る便所用マットは、床面に敷く便所用マットにおいて、保水性を有しており、その周縁の一部に洋式便器の外側周面に沿わせるべき凹部を設けてあり、該凹部の縁に複数の切込案内線が描いてあり、その裏面に接着性を有する裏打層を設けてあることを特徴とする。

【0017】第5発明に係る便所用マットは、床面に敷く便所用マットにおいて、保水性を有しており、その周縁の一部側に略U字形の切取案内線及び該切取案内線の複数の位置で分枝する切込案内線が描いてあり、その裏面に接着性を有する裏打層を設けてあることを特徴とする。

【0018】第4発明にあっては、マットを購入した使用者が凹部に設けてある夫々の切込案内線に沿って鉄等で切込むことにより複数の舌片を形成することができる。また、第5発明にあっては、マットを購入した使用者が略U字形の切取案内線に沿って鉄等でマットの一部を切ることにより便器の外側周面に沿わせるべき凹部を形成でき、さらに夫々の切込案内線に沿って鉄等で切込むことにより複数の舌片を形成することができる。従って、第1発明で述べたところのように使用者が夫々のスリットの間の舌片を立ち上がらせた状態で洋式便器に対し前側位置に置き、このマットを便器に向けて移動させることにより夫々の立ち上がり舌片を便器の外側周面に接触させることができ、さらにこれら舌片を押し付けることにより、裏打層の接着性によって夫々の舌片を便器の外側周面に接着することができ、舌片の便器との接触状態を良好に保つことができる。このため、便器の外側周面を伝って流れ落ちる小水を舌片で保水し、小水による床面の汚損を良好に防止することができる。

【0019】

【発明の実施の形態】以下本発明をその実施の形態を示す図面に基づいて詳述する。図1は便所用マットの要部

の斜視図、図2は便所用マットの平面図である。

【0020】本発明に係る便所用マット1は、床面に敷く平面視矩形状であり、一对を備える。

【0021】これらマット1は不織布によって形成されている。不織布の加工は、ポリエステル等の第1の熱可塑性繊維に該熱可塑性繊維よりも低融点で溶融する第2の熱可塑性繊維が混入された繊維を互いにからませて集合してなる比較的薄肉のシート状のウェブを形成し、このシートウェブを重ねて比較的厚肉のラップウェブを成形し、このラップウェブを第1のニードルパンチ加工によりフェルト状とし、このフェルトウェブの一面を第2のニードルパンチ加工により起毛させる。このように形成された不織布は良好な保水性を有すると共に、適当な程度の撓み性を有する。また、前記第1及び第2の熱可塑性繊維は、アンモニア臭に対する消臭作用を有する繊維が用いられている。尚、これら第1及び第2の熱可塑性繊維は、非消臭性の繊維が用いられてもよい。

【0022】このように形成された不織布の裏面、換言すれば不織布を用いてなるマット1の裏面には接着性及び保形性を有する裏打層2が塗布形成してある。

【0023】この裏打層2は粘着性を有するアクリル酸エステル共重合体及び熱可塑性繊維とよく相溶するメチルメタアクリレートブタジエン共重合体のエマルジョンに充填材を配合してなる合成樹脂材料が用いられる。

【0024】裏打層2は次のような工程によって形成される。上述した合成樹脂材料の溶液をポンプによって送り出す送出路の中間に空気源に連通する攪拌室が設けてあり、該攪拌室に空気を吹き込みつつ攪拌室に供給された前記溶液を攪拌することによって該溶液を泡立たせ、この泡状溶液を前記送出路の出口からマット1を構成する前記不織布の裏面に塗布し、この塗布された泡状溶液をドクターブレードにより均した後、約120°Cの乾燥室で1乃至2分の間乾燥させ、この後、乾燥室から取り出し、冷却することにより粘着性を有する状態で前記泡状溶液が硬化し、複数の微小気泡を有する裏打層2が形成される。尚、不織布の裏面に塗布された溶液の一部は不織布に浸透する。

【0025】上述の裏打層2を形成するときの乾燥によって不織布の第2の熱可塑性繊維が溶融し、この第2の熱可塑性繊維によって不織布の第1の熱可塑性繊維を互いに結合することができ、さらに、第2の熱可塑性繊維と溶液のアクリル酸エステル共重合体及びメチルメタアクリレートブタジエン共重合体とが化学反応して分子間に橋かけ結合が生じ、裏打層2の不織布との結合強度を高めることができるとともに、不織布の保形性を良好にでき、洗濯による皺を防ぐことができる。

【0026】さらに、上述の乾燥によって泡状の溶液のアクリル酸エステル共重合体とメチルメタアクリレートブタジエン共重合体とが化学反応して分子間に橋かけ結合が生じ、また、溶液の全ての泡部が微小気泡となる。

この溶液のアクリル酸エステル共重合体とメチルメタアクリレートブタジエン共重合体との橋かけ結合によって裏打層2の保形性を良好にでき、該保形性によって、不織布の保形性をより一層良好にでき、洗濯による皺をより一層良好に防ぐことができる。しかも、微小気泡は裏打層2の表面にも生ずるため、裏打層2を平坦な床面等に押し付けることによりその表面に露出する複数の微小気泡の夫々が内部空気を排出し、真空吸着作用をなし、この真空吸着作用及び前記粘着性が裏打層2の接着性を高めている。

【0027】以上の如く裏打層2が形成された不織布を適宜の大きさ及び適宜の形状に裁断することによって一对のマット1, 1が形成される。これらマット1, 1は、その周縁の一部に、洋式便器の外側周面に沿わせるべき一つの凹部11, 11を夫々設け、これら凹部11, 11の縁に30乃至50mm程度で離間する複数のスリット12…を設けてあり、さらに、凹部11, 11の縁に対して前記スリット12…の長さ寸法を隔てた位置の表面に曲げ用の溝10, 10が設けてある。また、前記スリット12…の間の舌片13…はその縁が面取りされて図1の如く湾曲している。

【0028】図3は図1のIII-III線の拡大断面図である。凹部11, 11は、洋式便器の下端部の外側周面に適合する適合形状よりも小さい形状に形成されており、この適合形状よりも小さい部分に形成された前記スリット12…の間の舌片13…を図1の如く曲げ用の溝10, 10から曲げて夫々表面側へ立ち上がりさせる。曲げ用の溝10, 10は高周波加熱器の略U字形の加熱部をマット1, 1の表面に当接させ、該加熱部によって第1の熱可塑性繊維の融点よりも低い温度でマット1, 1を加熱しつつ押圧することにより形成される。

【0029】図4は本発明に係る便所用マットを便所の床面に敷いた状態の斜視図、図5は図4の一部を拡大した断面図である。図中3は床面に固定される下端部から上端部の開口を縁取る上縁にかけてその内部空間が広くなるように形成された磁器製の便器であり、該便器3には、前記開口に対応する空孔をその中央に備えるO形の便座4と、該便座4の外形に対応する卵形の平面形状をなす便器蓋5とが、夫々の後縁に沿う略平行な枢軸により回動自在に枢支されている。

【0030】以上の如き便器3を備える洋式便器Aにおいて、本発明に係る便所用マットは、図4に示す如くその一对を便器3に対し前側位置及び後側位置から床面に敷いて用いられる。

【0031】マット1, 1を敷くとき、夫々のスリット12…の間の舌片13…を表面側へ立ち上がりさせる。このとき舌片13…は曲げ用の溝10, 10から曲げることができるために容易に立ち上がらせることができる。このように舌片13…を立ち上がらせた状態で洋式便器Aに対し前側位置及び後側位置に置き、このマットを便器

に向けて移動させることにより夫々の立ち上がり舌片13…を便器3の外側周面に接触させることができ、さらにこれら舌片13…をわずかな力にて押し付けることにより、裏打層2, 2の接着性、即ち、粘着性及び真空吸着作用によって夫々の舌片13…を便器3の外側周面に良好に接着することができ、舌片の便器との接触状態を良好に保つことができる。また、床面に敷いたマット1, 1は、その裏打層2, 2の粘着性及び真空吸着作用によって位置ずれを良好に防止できる。

【0032】このようにマット1, 1の立ち上がり舌片13…を便器3の下端部の外側周面に接着するため、男性が小用するときの小水の一部が便器3の上縁に飛び散り、この飛び散った小水の一部が便器3の外側周面を伝って流れ落ちることがあっても、この流れ落ちる小水を立ち上がり舌片13…で良好に保水することができ、小水による床面の汚損を良好に防止することができる。しかも、マット1, 1は消臭性繊維を含む不織布により構成され、小水に含まれる臭い、主としてアンモニア臭を消し、不快な臭いの発生を防止することができる。

【0033】小水を保水することによって汚損した便所用マットは、マット1, 1の端部を掴んで持ち上げることにより容易に床面から剥がすことができ、この汚損した便所用マットを洗濯機等により洗濯することができる。

【0034】また、裏打層2, 2は接着性及び保形性を有する合成樹脂材料からなり、この裏打層2, 2がマット1, 1の洗濯による皺を防いでいるため、便所用マットの洗濯を繰り返した場合においても洗濯皺を生じさせることなく平坦な形状を保つことができ、洗濯した便所用マットを床面に良好に敷くことができる。

【0035】以上説明した実施の形態では、一对のマット1, 1を用い、これらマット1, 1を便器3に対し前側及び後側から床面に敷いて用いたが、便器3に対し後側のマットをなくし、便器3に対し前側のマットのみとしてもよい。しかし、便器3に対し前側及び後側にマット1, 1を設けた場合、男性が小用するときの小水の一部が便器3の後部上縁を飛び越えたり、後部上縁に飛び散ったりする場合でも、便器3の外側へ落ちる小水をマット1, 1によって良好に保水することができる。

【0036】図6は本発明に係る便所用マットの他の実施の形態を示す平面図である。このマット1a; 1aは、前記マット1, 1の凹部11の縁に前記スリット12…を設ける代わりに、前記凹部11の縁に複数の切込案内線14…が描かれてある。

【0037】この実施の形態にあっては、マット1a, 1aを購入した使用者が凹部11の縁に描いてある夫々の切込案内線14…に沿って鉄等で切込むことにより複数の舌片13…を容易に形成することができる。従って、第1発明で述べたところのように使用することができ、便器の外側周面を伝って流れ落ちる小水を舌片で保

水し、小水による床面の汚損を良好に防止することができる。

【0038】図7は本発明に係る便所用マットのさらに他の実施の形態を示す平面図である。このマット1b, 1bは、前記マット1, 1, 1a, 1aのように凹部11を設けることなく、その周縁の一部側に略U字形の切取案内線15, 15及び該切取案内線の複数の位置で分枝する切取案内線16…が描かれてある。

【0039】この実施の形態にあっては、マット1b, 1bを購入した使用者が略U字形の切取案内線15, 15に沿って鉄等でマット1b, 1bの一部を切取ることにより便器3の外側周面に沿わせるべき凹部を形成でき、さらに夫々の切取案内線16…に沿って鉄等で切込むことにより複数の舌片を形成することができる。従って、第1発明で述べたところのように使用することができ、便器の外側周面を伝って流れ落ちる小水を舌片で保水し、小水による床面の汚損を良好に防止することができる。

【0040】

【発明の効果】第1発明によれば、夫々のスリットの間の舌片を立ち上がらせ、これら立ち上がり舌片を便器の外側周面に裏打層の接着性によって接着することができ、夫々の舌片の便器との接触状態を良好に保つことができため、便器の外側周面を伝って流れ落ちる小水を舌片で保水し、小水による床面の汚損を良好に防止することができる。

【0041】第2発明及び第6発明によれば、汚損した便所用マットを洗濯した場合、裏打層によって洗濯皺を生じさせることなく平坦な形状を保つことができ、洗濯した便所用マットを床面に良好に敷くことができる。

【0042】第3発明によれば、洋式便器に対し前側位置と後側位置とにマットを敷くことができるため、小水の一部が便器の上縁に飛び散ったり、便器の後部上縁を飛び越えたりする場合においても前記立ち上がり舌片によって小水を良好に保水することができる。

【0043】第4発明によれば、マットを購入した使用

者が凹部の縁に描いてある夫々の切取案内線に沿って切込むことにより複数の舌片を形成することができ、また、第5発明によれば、マットを購入した使用者が略U字形の切取案内線に沿ってマットの一部を切取ることにより便器の外側周面に沿わせるべき凹部を形成でき、さらに夫々の切取案内線に沿って切込むことにより複数の舌片を形成することができるため、夫々のスリットの間の舌片を立ち上がらせ、これら立ち上がり舌片を便器の外側周面に裏打層の接着性によって接着することができ、夫々の舌片の便器との接触状態を良好に保つことができる。従って、便器の外側周面を伝って流れ落ちる小水を舌片で保水し、小水による床面の汚損を良好に防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る便所用マットの要部の斜視図である。

【図2】本発明に係る便所用マットの平面図である。

【図3】図1のIII-III線の拡大断面図である。

【図4】本発明に係る便所用マットを便所の床面に敷いた状態の斜視図である。

【図5】図4の一部を拡大した断面図である。

【図6】本発明に係る便所用マットの他の実施の形態を示す平面図である。

【図7】本発明に係る便所用マットのさらに他の実施の形態を示す平面図である。

【符号の説明】

1, 1a, 1b マット

11 凹部

12 スリット

14 切取案内線

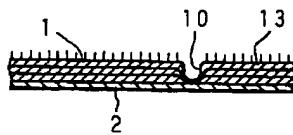
15 切取案内線

16 切取案内線

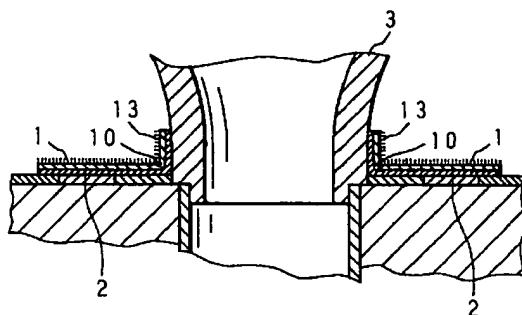
2 裏打層

3 便器

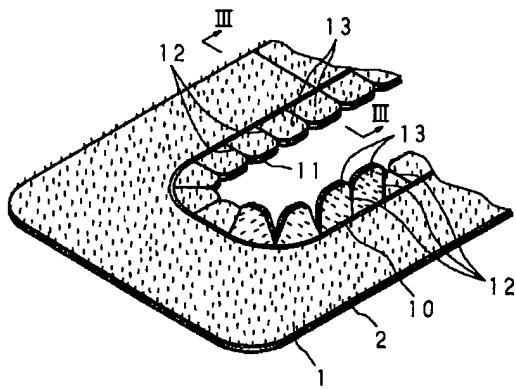
【図3】



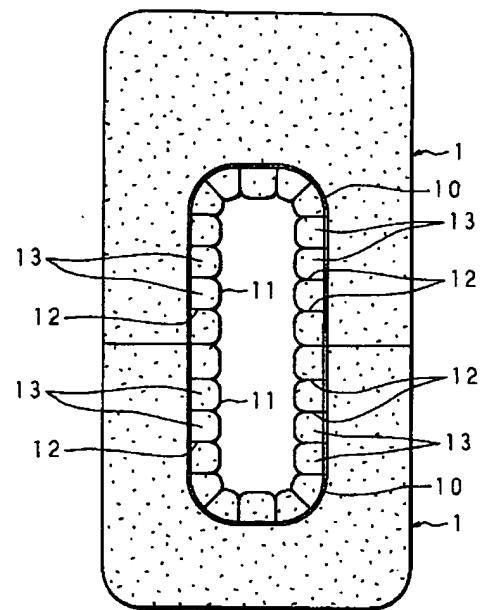
【図5】



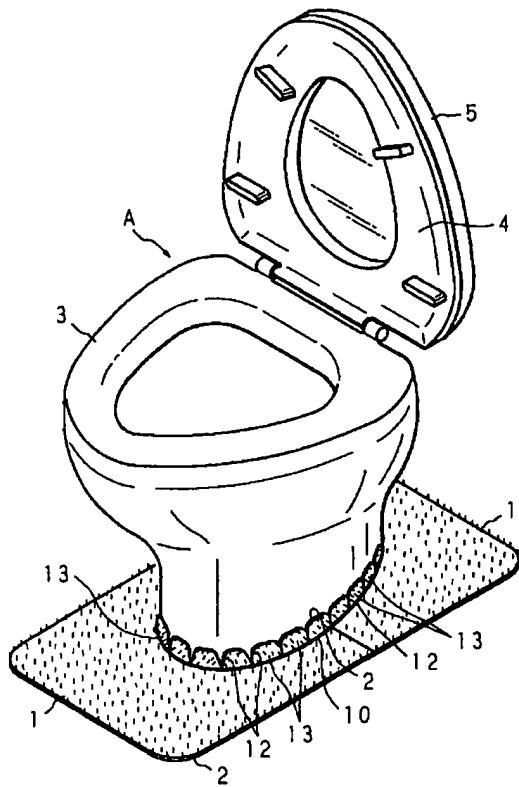
【図1】



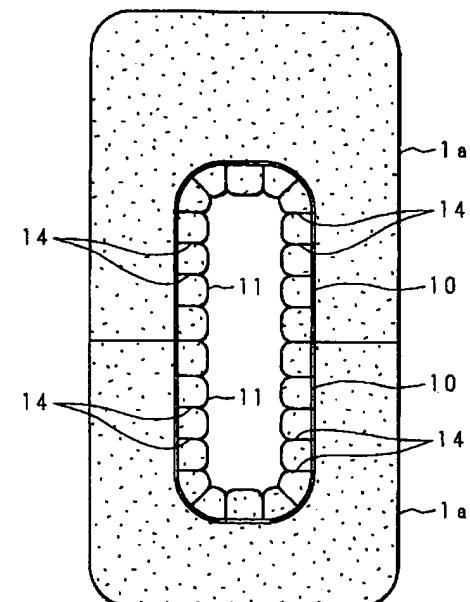
【図2】



【図4】



【図6】



(7) 001-258801 (P2001-25JL8

【図7】

